



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく（徳）
- かしこく（知）
- たくましく（体）

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和6年9月4日
第9号 文責 鈴木 博貴

【保護者・地域の皆様へ】自然災害に備え『力強い共助』を目指して

物理学者・防災学者の寺田 寅彦 氏の言葉、「天災は忘れた頃にやってくる」は有名ですが、今や自然災害は「いつ起きても不思議はない」状況下にあるといっても過言ではないと思います。

8月8日に内閣府より発令された「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」に伴う特別な注意の呼びかけは終了しましたが、大規模地震の発生の可能性がなくなったわけではないことから、「日頃からの地震への備え」については、引き続き実施するよう国も強く求めています。また、台風も8月・9月は、もっとも日本列島に接近する回数の多くなる季節でもあります。こうした自然災害に対応するために、既にご承知の通り、南小学校も坂戸市内の各地域交流センターと共に、洪水・大地震・大規模火災の際の「指定避難場所・指定避難所」の1つになっております。4年前に甚大な被害をもたらした東日本台風や新型コロナウイルス等の感染症の教訓を生かし、防災・減災の万全を期すために「学校防災マニュアル」を見直し、改訂しました。今年度も、この防災マニュアルに基づき本校職員と坂戸市防災安全課や坂戸市職員の現地災害対策担当者で、避難施設・設備の確認や避難所運営の在り方の確認、防災備蓄庫の物資や災害非常通信機器の作動の確認等も実施しました。このような備えを含めた「自助」・「公助」とともに、災害時のいざという時に大きな力となるのが「共助」です。「共助」で大切なことは、先ずは、お互いを知ることです。様々な活動がコロナ禍で自粛されていた状況から、徐々に自治会等でも対策がなされていると思いますが、本校を拠点に、子供たちへのご支援を通した同志(=「チーム南小」)が基盤となり、「地域の皆様のふれあいの輪(和)」がさらに広がり・深まり・強まり、自然災害時にも「強い共助」の核となればと思います。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。



【防災の日・防災週間】『この世の中で、かけがえのない一番大切なものを守るために』

南っ子の皆さん、全員に聞きます。「この世の中で、一番大切なものは何ですか？」
【児童たちは一斉に「命！」】 そうです。一番大切なもの。それは「命」です。自分の命はもちろん、他の人の命、全ての命。それは、学校でも同じです。皆さん一人一人全員「この世の中になった一つしかない、かけがえのない命」。その大切な「命」を災害から守るために行うのが「避難訓練」です。今日は「大きな地震(震度5以上)が起きたことを想定しての避難訓練」でした。しっかりと避難経路は確認できましたか。皆さん全員が、避難するときの合言葉『おかしもち』を守って、真剣に取り組みました。上級生の皆さん、改めて1年生に教えてあげましょう。【2年生】 お さない! ・【3年生】 か けない! ・【4年生】 し べらない! ・【5年生】 も どらない! ・【6年生】 ち かつかない! (ありがとう。)



1年生の皆さん、大切な避難するときの合言葉『おかしもち』。小学校に入学して初めての「避難訓練」でしたが、しっかりと覚えてくださいね。地震や火事はいつ起きるかわかりません。訓練がしっかりとできていないと、実際に起こったときに皆がパニックになり、沢山の犠牲が出てしまいます。皆さん、「もしもの時」も、今日のように落ち着いて行動しましょう。(5/8の最初の避難訓練より)



【保護者の皆様へ】保護者の皆様には、日常の登下校の旗当番や見守り等の安全確保や大規模災害を想定した避難訓練・引き渡し訓練など、子供たちの安全面でもご協力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。私ども教職員もお子様のお大切な命をお預かりしていることを肝に銘じ、防災・防犯教育、そして、災害時や不審者等への訓練を計画的に実施してまいります。ご家庭でも自然災害や不審者対応への備えとともに、様々な災害・被害の場面や状況を想定して、再度、親子で対応について話し合っただけければと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

【南小学校『大地震発生時の対応』】

大地震発生【震度5弱以上】

在宅時	<p>【自宅待機】</p> <p>○自宅待機または臨時休校となります。</p>
登下校時	<p>【安全な場所に一時避難、待機し、帰宅】</p> <p>①ランドセルやカバンなどで頭を守りながら塀や看板、自動販売機などの倒壊の危険のあるものから離れて安全な場所に一時避難します。</p> <p>※ 防災無線で、震度5弱以上が放送されたら</p> <p>②揺れがおさまった後、学校または家庭に行き、安全を確保します。保護者の方は、通学路に急行してください。教職員も急行します。お知り合いの児童を保護している場合は、本校職員が地域を巡回しますので、お知らせください。</p> <p>③登校時、学校に登校したり、下校時、学校に戻ったりした場合は、学校に待機し、保護者(代理人)の迎えを待ちます。</p>
在校時	<p>【学校に待機し、保護者への引き渡しによる下校】</p> <p>①安全な場所で生命の安全を確保します。</p> <p>②保護者(代理人)の迎えで下校します。</p>

※代理人とは、「引き渡しカード」に登録している方です。

【留意事項】

- (1) 在校時における保護者への引き渡しについては、学校からのメール連絡(「すぐーる」)により連絡します。しかし、連絡がつきにくい状況も想定されますので、大地震の際の震度情報等、情報発表には十分に留意してください。
- (2) 非常災害発生の場合、学校は市民の皆さんの避難所になっていますので、児童を保護者(代理人)に引き取っていただき、学校に避難する場合も考えられます。
- (3) 大地震の後の学校教育活動の再開については、校舎や通学路等の安全や学校の教育機能の回復ができた時点で判断を行い、連絡します。
- (4) 学校から帰る途中や帰宅後における大地震において、保護者の不在が予想される場合に備え、普段から、お子さんや近所同士でお話し合いをしてください。
- (5) 原則、上記の対応をしますが、状況により対応を変える場合もあります。

【地域の皆様へ】大地震発生の際の上記の内容をご理解いただき、本校児童の安全確保へのご支援・ご協力を何卒お願いいたします。

さかろんメール(坂戸市安全・安心メール)【QRコード】



【夢道場・南小『ほっとニュース』】

漢検『南小・ふれあい漢字検定』

南小を会場に実施する漢字検定も今回で5回目。『南小・学びの絆プロジェクト～世代を超えた学び合い～』では、その趣旨にご賛同いただき誠に有難うございました。当日は、児童たちをはじめ沢山の保護者・ご家族の皆様が10級から2級まで、漢字検定にチャレンジしました。各教室とも、漢字検定合格という共通の目標をもった「学びの同志」として頑張っている姿に溢れていました。



また、本校職員とともに10名の保護者ボランティアの皆様が試験監督等でご支援くださいました。本当に有難うございました。「学校で漢検ができると身近に感じることができた」「親子で一緒に漢検に挑戦するという目標ができました」等、保護者の皆様からの温かいご意見もいただきました。

- 10級(8名) 9級(14名)
- 8級(15名) 7級(13名)
- 6級(15名) 5級(10名)
- 4級(7名) 3級(7名)
- 準2級(3名) 2級(4名)



日本漢字能力検定協会『優秀団体・特別賞を受賞』

この度、南小に、公益財団法人『日本漢字能力検協会』より、全国でも25校程に授与される『優秀団体・特別賞』の賞状と盾が贈呈されました。



学校応援団『花壇の整備・除草作業』

学校応援団『花壇ボランティア』の皆さんが、子供たちが気持ちよく2学期を迎えられるようにと、連日の猛暑の中、学校花壇の除草作業を行っていただきました。



子供たちのため、いつも潤いある教育環境づくりにご尽力いただき有難うございます。また、2学期も『学校図書ボランティア』『読み聞かせボランティア』『ミシン・ボランティア』等の皆さんにもお世話になります。よろしくお願いいたします。

【チーム南小に新しい仲間(職員)が加わりました】

9月より新たな職員として、一昨年度に本校に勤務しておりました □□ □□□ 非常勤講師 が再び勤務することになりました。主にさくら学級の児童の学習支援を担当します。よろしくお願いいたします。